
陰陽師と龍族の少女

サイバスター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

陰陽師と龍族の少女

【Nコード】

N8399X

【作者名】

サイバスター

【あらすじ】

この物語は龍と人間の半妖である少女と陰陽師の少女と出会い様々な出会いや出来事を経験し成長する物語である

キャラ紹介

ここでオリキャラの紹介をします

主人公

龍野 雫 年齢 12才

CV 水樹奈々

彼女は人間と龍の間に生まれた半妖である。

容姿

人間時 黒髪で長髪の女の子である。

妖怪時 髪の毛は金色になり雷撃と氷の妖力を使うことができる

現在は、家族と離れ東京で一人暮らししている。

家族構成

父 龍野 氷河 年齢 不詳

CV 緑川光

龍家の現当主である

本人は、早く当主の座を雫に渡したがっているが、龍神に、自分がやれと言われしぶしぶやっている。

母龍野 桜 年齢 30才

C V 水橋かおり

彼女は10年前に、京都を一人で旅行中に氷河に会い二人は、恋に落ちそのまま氷河と結婚をし、雫を産み現在は、東京の実家で二人目の出産の準備をしている

龍神 年齢 年齢不詳

C V 麦人

氷河の父親で、自分の息子の氷河には厳しく接するが孫の雫には甘く溺愛している

今後の予定

最初は雫の幼少期を書く予定で、舞台は京都で雫は陰陽師の少女と出会うところから物語が始まります

少女との出会い

私の名前は龍野雫5才

今私は、お母様と一緒に、京都の街を歩いてとあるお屋敷に向かっています。

「お母様これからどこのお屋敷に行くんですか？」

私は何も知らされずに連れてこられたのでお母様に、事情を聞いたのでした。

「雫いいですかこれから私たちは、花開院のお屋敷に行くのです」

「花開院のお屋敷にですか？」

（花開院家といえは陰陽師の家計のはず私たち龍族といえど陰陽師からすれば、妖怪の仲間と見られがちなのに、どうしてお母様はそんなところに私を連れて行くのだろうか？）

雫が自分の考えをまとめていると、目的地の花開院のお屋敷に着いたのだった。

そして私が玄関を開けるとすごい勢いで私と同じくらいの女の子が出てきたのだった。これが私とゆらとの出会いだった。

「いらっしやいあなたが私の友達になってくれる人なん？」

由良は大きな声で雫に聞いたが雫は何が起きたのかわからずにいた。

「ねえあなたは私の友達になってくれてここで一緒に暮らすんだよね？」

ゆらが不安そうに雫に聞く。

雫は由良の言葉を聞いて絶句していた。

雫が復活した直後雫は自分の母親の桜に問い詰めていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8399x/>

陰陽師と龍族の少女

2011年10月24日02時05分発行